

令和2年度

入学者選拔要項

帯広畜産大学

目 次

| | |
|---|-----------|
| 1. 帯広畜産大学畜産学部 教育ポリシー（方針） | 1 |
| 2. 入学定員及び募集人員 | 4 |
| 3. 入学者選抜方法 | 4 |
| 4. 一 般 入 試 | 5 |
| 5. 特 別 入 試 | 6 |
| (1) 推 薦 入 試 I | |
| (2) 帰国生特別入試 | |
| (3) 社会人特別入試 | |
| 6. 私費外国人留学生特別入試 | 6 |
| 7. 障がい等のある志願者との事前相談 | 7 |
| 8. 個人情報の取り扱いについて | 7 |
| 9. 試験成績の開示 | 7 |
| 10. 学生募集要項等請求方法 | 8 |
| 【別表 1～5】 | 11 |
| 【予告】 令和 3 年度（2021 年度）帯広畜産大学入学者選抜方法等 について | 16 |

1 帯広畜産大学畜産学部 教育ポリシー（方針）

◎目指すべき人材像

食と農の大切さ、動植物の命の尊さを心得た素養を基礎として、「農場から食卓まで」の幅広い視点で現場に適応できる知識と実践力を有するとともに、地球規模課題解決等の国際的視野を備えたグローバル人材

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学は、獣医・農畜産融合の視点から、農場から食卓まで生命・食料・環境を科学し、農畜産の幅広い分野で活躍する実践的な専門職業人を育成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 「農場から食卓まで」の幅広い考え方で現場に適応できる知識と能力を身につけたい人
2. 北海道十勝地域の豊かな自然と風土のもとで、食と農の大切さ、動植物の命の尊さを学びたい人
3. 食や環境などに関する地球規模の社会問題を解決する能力を身につけたい人
4. 農畜産学および獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域について学ぶために必要な基礎学力を身につけている人
5. 自分の意見を持ちつつも、他の多様な意見や価値観を尊重して協力することができる人

○入学者選抜の基本方針

1. 農畜産科学及び獣医学を学ぶための基本的な学力や思考力を備えているかどうかを重視します。
2. 個別学力検査では、農畜産科学及び獣医学を修得するために必要な理系教科の基礎知識及びその応用的思考力、そしてグローバルな情報を理解するための英語力を評価の対象とします。
3. 推薦入試等、帰国生特別入試、社会人特別入試及び私費外国人留学生特別入試では、情報の理解力と分析力、自身の考えを表現する力、コミュニケーション能力、そして意欲を評価の対象とします。

○入学者選抜方法

1. 一般入試（前期日程）
大学入試センター試験と個別学力検査及び調査書を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では、5教科7科目を課し基礎学力の幅広い達成度をはかります。個別学力検査では、英語・数学・理科（物理・化学・生物）からなる総合問題を出題し評価します。調査書においては、高等学校での学習の達成度をはかります。
2. 一般入試（後期日程）
大学入試センター試験と個別学力検査及び調査書を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では、5教科7科目を課し基礎学力の幅広い達成度をはかります。個別学力検査では、面接及び小論文試験を実施します。面接ではコミュニケーション能力、学習意欲を評価し、小論文試験では情報の理解力と分析力、思考力、自分の考えを表現する力を評価の対象とします。調査書においては、高等学校での学習の達成度をはかります。
3. 推薦入試Ⅰ
畜産科学課程においては、高等学校の農業科（それに準じる学科を含む）の生徒を対象としたA推薦と、すべての学科の生徒を対象としたB推薦の二つの区分があり、いずれの入試においても、出願書類の審査、面接及び小論文試験を実施します。出願書類では高等学校での学習の達成度をはかります。また、面接ではコミュニケーション能力、学習意欲を評価し、小論文試験では情報の理解力と分析力、思考力、自分の考えを表現する力を評価の対象とします。
4. 帰国生特別入試
出願書類の審査、面接及び小論文試験を実施します。出願書類では高等学校での学習の達成度をはかります。また面接ではコミュニケーション能力、学習意欲を評価し、小論文試験では情報の理解力と分析力、思考力、自分の考えを表現する力を評価の対象とします。

5. 社会人特別入試

出願書類の審査、英語の試験、面接及び小論文試験を実施します。出願書類では高等学校での学習の達成度をはかります。英語の試験では基礎学力を評価します。また、面接ではコミュニケーション能力、学習意欲を評価し、小論文試験では情報の理解力と分析力、思考力、自分の考えを表現する力を評価の対象とします。

6. 私費外国人留学生特別入試

日本留学試験の成績と面接を総合して選抜を行います。日本留学試験では大学で学ぶための基礎学力をはかり、面接ではコミュニケーション能力、学習意欲を評価します。

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の卒業要件単位数を修得し、以下の知識や能力を身につけた学生に学士の学位を授与します。

1. 獣医・農畜産融合の視点から、食料の生産から消費に至る過程についての関心が高く、課題解決に向けて取り組む態度を身につけている。
2. 国際化社会で必要となる見識と基礎的コミュニケーション能力を身につけている。
3. 獣医農畜産の専門教育コースである下記“ユニット”の専門知識、技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<共同獣医学課程>

- ・動物疾病の予防・診断・治療、動物の健康の維持増進、公衆衛生等に関する卓越した知識・技術を身につけている。
- ・安定的な食料供給、家畜及び畜産物の安全確保、人獣共通感染症対策など地球規模の課題の解決に貢献するための国際的視点と知識・技術を身につけている。
- ・最先端の生命科学研究に触れ、生命現象の新たな発見や医薬品の開発などにおいて獣医学を基礎とした課題解決能力と国際的な活動を実践する能力を身につけている。

<畜産科学課程>

家畜生産科学ユニット

- ・家畜の飼養管理、繁殖や改良、乳肉の生産についての専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

環境生態学ユニット

- ・多様な生物群からなる生態系の仕組み及び農畜産環境とその周囲を取り巻く自然環境に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

食品科学ユニット

- ・食品の一次機能（栄養成分とエネルギー）、二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

農業経済学ユニット

- ・農畜産の生産、加工、流通、消費に関わる諸問題の把握や分析に必要な社会科学的な専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

農業環境工学ユニット

- ・農業農村工学や農業システム工学に基づく先進的農業と環境保全を両立させるための専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

植物生産科学ユニット

- ・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から、その環境で育つ作物の生理、生態及び育種に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、農畜産学及び獣医学とこれらに関連する諸学術分野について、以下の点に配慮しながら授業科目を編成し教育を行います。

1. 農畜産学及び獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域に関する幅広い視野と専門性を身につけるための教育を行います。
2. 「農場から食卓まで」の幅広い視野に基づいて、食料生産及び食の安全に関わる授業科目を広く修得できる科目を配置し教育を行います。
3. 低学年では教養と語学力を向上させるための科目及び専門領域への導入的科目を、高学年では専門領域の科目を配置し、修学の積み重ねを重視したアドバンス制教育を行います。
4. 専門教育コースである“ユニット”では、より専門性を高めるための科目を配置します。同時に、生命、食料、環境に関する幅広い知識の修得を目的として、他ユニットの科目も適宜選択可能なシステムを設け、専門性を広げる教育を行います。
5. 高学年で分属する研究室では、卒業研究や卒業研究ゼミナールを通して専門知識と技術の修得とともに、総合的思考力・応用力を身につけるための教育を行います。
6. 学生のキャリアを育てるための科目を配置し、卒業後の進路を配慮した教育を行います。
7. 国際教育関連の科目群を配置し、国際社会での活動に対応できるための教育を行います。
8. 専門性を身につけるための共同獣医学課程及び畜産科学課程の専門ユニットの科目編成方針は次のとおりです。

<共同獣医学課程>

- ・獣医師としての任務を遂行するための論理性及び倫理性に裏打ちされた行動規範を身につけるため、基盤教育科目・共通教育科目を配置します。
- ・動物疾病の予防・診断・治療、動物の健康の維持増進、公衆衛生等に関する卓越した知識・技術を身につけるため展開教育科目を配置します。
- ・安定的な食料供給、家畜及び畜産物の安全確保、人獣共通感染症対策など地球規模の課題の解決に貢献するための国際的視点と知識・技術を身につけるため共通教育科目・展開教育科目を配置します。
- ・最先端の生命科学研究に触れ、生命現象の新たな発見や医薬品の開発などにおいて獣医学を基礎とした課題解決能力と国際的な活動を実践する能力を身につけるため展開教育科目を配置します。

<畜産科学課程>

家畜生産科学ユニット

- ・家畜の飼養管理、繁殖や改良、乳肉の生産についての知識と技術を修得するための授業科目を配置します。

環境生態学ユニット

- ・多様な生物群からなる生態系の仕組みを学ぶための教育科目及び農畜産環境とその周囲を取り巻く自然環境を理解するための授業科目を配置します。

食品科学ユニット

- ・食品の一次機能（栄養成分とエネルギー）、二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）を学ぶための授業科目を配置します。

農業経済学ユニット

- ・農畜産の生産、加工、流通、消費に関わる諸問題を、経済学や経営学を主とする社会的なものを見方や調査に基づき的確に把握するための授業科目を配置します。

農業環境工学ユニット

- ・農業農村工学や農業システム工学に基づく先進的農業と環境保全を両立させるために必要な技術体系を学ぶための授業科目を配置します。

植物生産科学ユニット

- ・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から、その環境で育つ作物の生理、生態及び育種を総合的に理解するための授業科目を配置します。

2 入学定員及び募集人員

| 学部・課程名 | | 入学定員 | 募集人員 | | | | | |
|--------|---------|------|------|------|----------------------|-----|-----|--------------|
| | | | 一般入試 | | 特別入試 | | | 私費外国人留学生特別入試 |
| | | | 前期日程 | 後期日程 | 推薦入試 I | 帰国生 | 社会人 | |
| 畜産学部 | 共同獣医学課程 | 40人 | 30人 | 10人 | — | — | — | — |
| | 畜産科学課程 | 210人 | 130人 | 25人 | A 推薦 15人 B 推薦 40人 | 若干人 | 若干人 | 若干人 |
| 計 | | 250人 | 160人 | 35人 | 55人 | | | |

- 注：1. 本学では、志願課程は1課程のみとしています。なお、共同獣医学課程は、6年間の教育を行うことになっていきますので、留意してください。
2. 畜産科学課程は、2年次から各ユニットに所属します。
3. 畜産科学課程の前期日程の募集人員には、帰国生及び社会人の募集人員若干人を含みます。私費外国人留学生特別入試は定員に含みません。
4. 畜産科学課程の推薦入試 I の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えて募集します。

3 入学者選抜方法

(1) 入学試験の実施方法

本学の入学者選抜は、次により行います。

- ① 一般入試（「前期日程」及び「後期日程」の分離分割方式で行います。）
- ② 特別入試（推薦入試 I，帰国生特別入試，社会人特別入試）
- ③ 私費外国人留学生特別入試

注：分離分割方式とは、入学定員を「前期日程」と「後期日程」の二つに分け、まず、「前期日程」の試験の実施と合格者の決定を行い、その合格者に入学手続を行わせ、次に「後期日程」の試験の実施と合格者の決定を行い、その合格者に入学手続を行わせる方式です。

(2) 留意事項

- ① 本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。
- ② 「前期日程」の試験に合格し、所定の期日（令和2年3月15日）までに入学手続を完了した者については、「後期日程」に出願し、受験しても「後期日程」の大学・学部の合格者とはなりません。
- ③ 「前期日程」又は「後期日程」の試験に合格し、その入学手続を行わなかった者は、その「前期日程」又は「後期日程」の大学・学部への入学を辞退したものと扱います。
- ④ 本学の「前期日程」及び「後期日程」に併願することは差し支えありません（同じ課程の場合、異なる課程の場合どちらでも可）。

4 一般入試

(1) 出願資格（前期日程・後期日程共通）

次の各号のいずれかに該当し、かつ令和2年度大学入試センター試験の本学が定める教科・科目をすべて受験した者

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当する者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
 - オ) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む)
 - カ) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(2) 入学資格審査（前期日程・後期日程共通）

上記「(1)出願資格」の③のカ)で本学に入学を志願する者は、各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等について、以下に基づき個別の入学資格審査を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に連絡してください。

- ① 申請期限
 - 第1次：令和元年9月13日(金)まで
 - 第2次：令和2年1月20日(月)～令和2年1月22日(水)
- ② 連絡先
帯広畜産大学 入試・教務課 入学試験係
(住所、電話番号については、10ページ参照)
- ③ 審査基準
 - ア) 日本国内において、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校学習指導要領及び専修学校高等課程が大学入学資格の指定を受ける際の要件に準じているかを精査し、高等学校卒業と同等以上の学力を有しているかを審査します。
 - イ) 上記ア)以外の者で、各種の学校等における学習歴、大学の科目等履修生としての単位の取得などの個人の学習歴、社会における実務経験及び取得した資格等を有している者は、学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

(3) 選抜方法

① 前期日程

入学者の選抜は、令和2年度大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。過年度の大学入試センター試験成績は利用しません。

詳細は【別表1】(11ページ)参照

② 後期日程

入学者の選抜は、令和2年度大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。過年度の大学入試センター試験成績は利用しません。

詳細は【別表1】(11ページ)参照

(4) 出願期間・試験期日等

| 試験区分 | 出願期間 | 試験期日及び試験場 | 合格発表日 | 入学手続期間 |
|------|----------------------------------|---------------------------------------|--------------|-----------------------------------|
| 前期日程 | 令和2年1月27日(月) ～ 令和2年2月5日(水) | 令和2年2月25日(火) 10:00～12:00 帯広畜産大学 | 令和2年3月6日(金) | 令和2年3月6日(金) ～ 令和2年3月15日(日) |
| 後期日程 | 同上 | 令和2年3月12日(木) 9:30～ 帯広畜産大学 | 令和2年3月20日(金) | 令和2年3月20日(金) ～ 令和2年3月27日(金) |

(5) 追加合格の通知期間(前期日程・後期日程共通)

令和2年3月28日(土)～令和2年3月31日(火)

5 特別入試

(1) 推薦入試 I 【別表2】(12ページ)参照

(2) 帰国生特別入試 【別表3】(13ページ)参照

(3) 社会人特別入試 【別表4】(14ページ)参照

6 私費外国人留学生特別入試

【別表5】(15ページ)参照

7 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願の前にあらかじめ本学と相談を行ってください。

なお、詳細については、学生募集要項に記載しますが、具体的な相談が必要になった場合は、下記により行ってください。

(1) 相談の期限

一般入試:令和2年2月5日(水)まで
推薦入試 I:令和元年11月6日(水)まで
帰国生特別入試:令和元年10月31日(木)まで
社会人特別入試:令和元年10月31日(木)まで
私費外国人留学生特別入試:令和2年1月27日(月)まで

(2) 相談の方法

事前相談書(医師の診断書等必要書類添付)を提出することとし、必要な場合には、本学において志願者又はその立場を説明し得る出身学校関係者等との面談を行うこともあります。事前相談書の様式は本学ホームページの入試情報に掲載しています。

(3) 連絡先

帯広畜産大学 入試・教務課 入学試験係
(住所、電話番号については、10ページ参照)

8 個人情報の取り扱いについて

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

出願等で得られた個人情報の利用については、各学生募集要項に記載します。

9 試験成績の開示

本学では、本人からの請求に基づき、入学者選抜に係る試験成績について、開示します。

開示の内容、期間、請求手続の詳細については、募集区分ごとの募集要項でお知らせします。

なお、大学入試センター試験の成績は、大学入試センターで開示することになるので、開示を希望する者は、同センターが発行する「受験案内」を参照してください。

10 学生募集要項等請求方法


資料公表予定時期

| | |
|----------------------|----------|
| ・ 大学案内 | 令和元年7月下旬 |
| ・ 推薦入試 I 学生募集要 | 〃 9月上旬 |
| ・ 帰国生・社会人特別入試学生募集要項 | 〃 9月上旬 |
| ・ 私費外国人留学生特別入試学生募集要項 | 〃 10月中旬 |
| ・ 一般入試学生募集要項 | 〃 10月中旬 |

学生募集要項及び大学案内は、下記のいずれかの方法で請求してください。

なお、帰国生・社会人・私費外国人留学生特別入試の学生募集要項については、大学ホームページに掲載のPDFファイルに出願書類等も含まれておりますので、そちらを自分で印刷してご利用ください。


(1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから、 テレメール、モバっちょを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。

詳しくは、帯広畜産大学ホームページ(<https://www.obihiro.ac.jp>)をご覧ください。

(2) モバっちょにインターネット（パソコン・スマホ・携帯）で請求する場合

①モバっちょにアクセスしてください。

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| インターネットの場合 (パソコン・スマホ・携帯電話) | https://djc-mb.jp ※パソコン・携帯共通アドレス |  |
|-------------------------------|---|---|

②画面の案内に沿って請求を希望する資料を選び、申し込んでください。

③請求料金・発送方法等

| 資料名 | メール便（通常） | 宅配便（急ぐ場合） |
|---------------|----------|-----------|
| 大学案内 | 250 円 | |
| 一般入試募集要項 | 250 円 | 750 円 |
| 一般入試募集要項・大学案内 | 350 円 | 850 円 |
| 推薦入試募集要項 | 250 円 | 750 円 |
| 推薦入試募集要項・大学案内 | 350 円 | 850 円 |

④モバっちょに関する注意事項


ア) 料金は資料請求時に携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払い、コンビニ後払いを選択できます。それぞれ、支払手数料（コンビニ後払いは126円、それ以外は50円）が別途必要です。

イ) 携帯・スマホの機種、契約状況等によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。その場合は、コンビニ後払いを選択してください。

ウ) パケット料金等の通信料金は別途かかります。

モバっちょでの請求についてのお問い合わせ先
モバっちょカスタマーセンター IP 電話 050-3540-5005（平日 10:00~18:00）

※モバっちょカスタマーセンターは株式会社大学情報センターが管理運営しています。

(3)  テレメールにインターネット（パソコン・スマホ・携帯）または自動音声応答電話で請求する場合


①下記のいずれかの方法で、 テレメールにアクセスしてください。

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| インターネットの場合 (パソコン・スマホ・携帯) | https://telemail.jp パソコン・スマホ・携帯共通アドレス | スマホ・携帯でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。  |
| 自動音声応答電話の場合 | IP 電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP 電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 | |

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

| 資料名 | 資料請求番号 | 料金（送料含） |
|---------------|--------|---------|
| 大学案内 | 560352 | 215 円 |
| 一般入試募集要項 | 580352 | 215 円 |
| 一般入試募集要項・大学案内 | 540352 | 250 円 |
| 推薦入試募集要項 | 580362 | 215 円 |
| 推薦入試募集要項・大学案内 | 540362 | 250 円 |

③ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

④  テレメールに関する注意事項

- ア) 発送予定日のおおむね3～4日後に届きます。17:30 までの受付は当日発送となりますが、17:30 以降は翌日発送となります。ただし、お届け地域や郵便事情によっては1週間ほどかかります。1週間以上経っても届かない場合には、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前に請求された資料は、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。
- イ) 料金は、お届けする資料に同封の料金支払用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払手数料が別途必要です（コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは150円、窓口扱いは200円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円）。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
- ウ) 資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- エ) 一般入試募集要項は、自動音声応答電話による請求を除き、通常受付終了後も引き続きテレメール速達対応（レターパックプラス）で請求受付を行います。速達対応の料金は、(3)②に記載の料金とは異なりますので、テレメールの資料請求画面でご確認ください。

【通常受付期限】令和2年1月30日（木）正午まで

【速達対応受付期限】令和2年2月2日（日）正午まで

テレメールでの請求についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

※テレメールカスタマーセンターは株式会社フロンページが管理運営しています。

(4) **大学へ直接請求する方法**

郵便番号・住所・氏名を明記し、300円分の切手（速達の場合は620円分の切手）を貼り、「ゆうメール」と明記した返信用封筒（角型2号）を同封の上、大学あての封筒の表に**希望する学生募集要項名**（一般入試、推薦入試Iのいずれか）を朱書きして請求してください。請求先は10ページを参照してください。

入学者選抜に関して不明な点があれば、電話又は電子メールで問い合わせてください。

資料等の直接請求・お問い合わせ先

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学 入試・教務課 入学試験係
TEL 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)
E-mail:nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各課程の紹介、大学の概要等が載っています。
アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp>

帯広畜産大学携帯電話サイトのご案内

資料請求方法、出願状況速報、合格発表などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。
アドレスは、次のとおりです。

<https://daigakujc.jp/obihiro>
右のQRコードからも読み取れます。



【別表1】

令和2年度帯広畜産大学入学選抜の実施教科・科目等について

| 学部・課程等名 及び入学定員等 | 学力検査等の 区分・ 日程 | 大学入試センター試験の利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | | 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 | | | | | | | | | |
|--|--------------------------------------|---------------------|---|---------|---|------------------------|-----|----------|-----|-----|-----|----------|-----|-----|----------|
| | | 教科 | 科目名等 | 教科等 | 科目名等 | 試験の 区分 | 国語 | 地歴 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 総合 問題 | 小論文 | 面接 | 配点 合計 |
| 畜産学部 250人 前期 160 後期 35 推薦 55 | 共同獣医学 課程 40人 前期 30 後期 10 | 国 | 国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社 倫, 政経 倫・政経 数Ⅰ・数A | その他 | 総合問題 (英語, 物理, 化学, 生物及び数学の 5つから, それぞれ2題出題し, 合計10 題の中から5題選択解答。ただし, 英語 2題の中から少なくとも1題と理科6 題の中から少なくとも2題の計3題を 必ず選択回答すること) | センター 試験 | 120 | 80 | 120 | 160 | 120 | | | | 600 |
| | | 地歴 公民 数 | から1 | | | 計 | 120 | 80 | 120 | 160 | 120 | 400 | | | 1000 |
| 畜産科学 課程 210人 前期 130 後期 25 推薦 55 | 後期 | 外 | 英 (リスニング含む), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | その他 | 小論文 面接 | センター 試験 | 120 | 80 | 120 | 160 | 120 | | | | 600 |
| | | | | | | 計 | 120 | 80 | 120 | 160 | 120 | 200 | 200 | 400 | |

注意事項

【大学入試センター試験成績の過年度利用】

本学の入学選抜においては、過年度大学入試センター試験成績は利用しません。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】

1. 地理歴史, 公民は, 2 単位科目・4 単位科目を問わず, 2 教科10 科目から1 科目を選択
2. 地理歴史, 公民のうち, 2 科目を受験した場合は, 第1 解答科目の成績を利用します。
3. 数学で, 「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限りります。
4. 理科は, 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は選択不可

【大学入試センター試験の配点等】

英語の得点は, 筆記試験 (200 点満点) 及びリスニングテスト (50 点満点) の合計得点 (250 点満点) を, 他の外国語科目の得点に合わせて圧縮して利用します。

【個別学力検査等】

英語は, 「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」から出題
 物理は, 「物理基礎」「物理」から出題
 化学は, 「化学基礎」「化学」から出題
 生物は, 「生物基礎」「生物」から出題
 数学は, 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」の全範囲, 及び「数学B」の「数列」「ベクトル」から出題
 小論文は, 課題ごとの出題とし, 共同獣医学課程の資料は英語で提示される場合があります。

【別表 2】

令和 2 年度特別入試（推薦入試 I）

| 実施学部・課程名 | 畜産学部・畜産科学課程（A推薦） | 畜産学部・畜産科学課程（B推薦） |
|----------------------|--|------------------|
| 募 集 人 員 | 15 人 | 40 人 |
| 出願の対象となる 高等学校等の範囲 | <p>出願の対象となる高等学校等の範囲については次のとおりとします。</p> <p>①高等学校、②中等教育学校、③特別支援学校の高等部、④高等専門学校の第3年次、⑤文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設の当該課程</p> | |
| 出願資格・要件 | <p>【A推薦】（農業に関する学科及びそれに準ずる課程対象） 次の(1)～(3)のすべてに該当し、人物、学力ともに優れ、当該学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校等の次に定めるいずれかの学科を平成31年4月以降に卒業（修了）した者又は令和2年3月までに卒業（修了）見込みの者</p> <p>(a) 農業に関する学科</p> <p>(b) 上記以外の学科（農業に関する専門科目を20単位以上修得している場合に限ります）</p> <p>注：農業に関する専門科目には、原則履修科目を含みます。</p> <p>(2) 出願時において、調査書全体の評定平均値が3.8以上の者で、かつ数学、理科、英語の評定平均値がいずれも4.3以上の者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>【B推薦】 次の(1)～(4)のすべてに該当し、人物、学力ともに優れ、当該学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 高等学校等を平成31年4月以降に卒業（修了）した者又は令和2年3月までに卒業（修了）見込みの者</p> <p>(2) 出願時において、調査書全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(3) 「物理」「化学」「生物」及び「地学」の4科目のうちから4単位以上修得した者又は令和2年3月までに修得見込みの者。なお、この「物理」「化学」「生物」「地学」とは学習指導要領上の科目名であって、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「理科課題研究」は含みません。また、学校によって独自の科目名称をつけている場合は、調査書の備考欄に学習指導要領上の「物理」「化学」「生物」「地学」に相当するものであることを付記してください。</p> <p>注：理数科にあつては、「理数物理」「理数化学」「理数生物」及び「理数地学」の4科目のうちから10単位以上修得した者又は令和2年3月までに修得見込みの者。また高等専門学校にあつては、理科科目の修得に関する要件を特に設けません。</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> | |
| 選 抜 方 法 等 | <p>大学入試センター試験を免除し、出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）の内容と本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。</p> | |
| 出 願 期 間 | 令和元年11月1日(金)～令和元年11月6日(水) | |
| 選 抜 期 日 | 令和元年11月30日(土) | |
| 合 格 発 表 日 | 令和元年12月10日(火) | |
| そ の 他 | <p>(1) 試験場：帯広畜産大学</p> <p>(2) 入学手続期間：令和元年12月10日(火)～令和元年12月25日(水)</p> | |

【別表 3】

令和 2 年度特別入試（帰国生特別入試）

| | |
|----------|--|
| 実施学部・課程名 | 畜産学部・畜産科学課程 |
| 募集人員 | 若干人 |
| 出願資格・要件 | <p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>ただし、(1)～(3)については、外国において、最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者（早期卒業等で2年に満たない場合は最終学年を含めて2学年分の学修を修了していること）に限る。</p> <p>また、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む。）を平成30年4月1日から令和2年3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>(2) 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定したものを、平成30年4月1日から令和2年3月31日までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において、国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）により、教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を平成30年4月1日から令和2年3月31日までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(4) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成30年又は令和元年に取得した者</p> <p>(5) 外国において、ドイツ連邦共和国の各州の大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成30年又は令和元年に取得した者</p> <p>(6) 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成30年又は令和元年に取得した者</p> <p>(7) 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCEA）を平成30年又は令和元年に取得した者</p> |
| 選抜方法等 | 大学入試センター試験を免除し、出願書類（推薦書、成績証明書、学習の記録等）の内容と本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。 |
| 出願期間 | 令和元年10月25日（金）～令和元年10月31日（木） |
| 選抜期日 | 令和元年11月30日（土） |
| 合格発表日 | 令和元年12月10日（火） |
| その他 | <p>(1) 試験場：帯広畜産大学</p> <p>(2) 入学手続期間：令和元年12月10日（火）～令和元年12月25日（水）</p> |

【別表 4】

令和 2 年度特別入試（社会人特別入試）

| | |
|----------|---|
| 実施学部・課程名 | 畜産学部・畜産科学課程 |
| 募集人員 | 若干人 |
| 出願資格・要件 | <p>令和 2 年 3 月 31 日までに 23 歳に達し，社会人としての経験を 5 年以上有する者で，次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> |
| 選抜方法等 | <p>大学入試センター試験を免除し，出願書類（成績証明書，志望理由書）の内容と本学が実施する英語（基礎問題），小論文及び面接の成績を総合して行います。</p> |
| 出願期間 | 令和元年 10 月 25 日(金)～令和元年 10 月 31 日(木) |
| 選抜期日 | 令和元年 11 月 30 日(土) |
| 合格発表日 | 令和元年 12 月 10 日(火) |
| その他 | <p>(1) 試験場：帯広畜産大学 (2) 入学手続期間：令和元年 12 月 10 日(火)～令和元年 12 月 25 日(水)</p> |

【別表5】

令和2年度私費外国人留学生特別入試

| | |
|----------|--|
| 実施学部・課程名 | 畜産学部・畜産科学課程 |
| 募集人員 | 若干人 |
| 出願資格・要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者</p> <p>(1) 日本の国籍を有しない者（ただし、日本国の永住許可を得ている者は除く）</p> <p>(2) 次のいずれかに該当する者</p> <p>ア) 外国において、12年の学校教育の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>イ) 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）により、教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を令和2年3月31日までに修了又は修了見込みの者</p> <p>ウ) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者</p> <p>エ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者</p> <p>オ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者</p> <p>カ) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCEA）を取得した者</p> <p>(3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和元年度6月実施分又は11月実施分のいずれかの「日本留学試験」の理系の3教科（日本語、理科は物理・化学・生物から2科目自由選択、数学はコース2）を受験した者（注：受験時の出題言語は、日本語または英語のどちらでも可）</p> |
| 選抜方法等 | 大学入試センター試験を免除し、日本留学試験の成績と本学が実施する面接の成績を総合して行います。 |
| 出願期間 | 令和2年1月20日(月)～令和2年1月27日(月) |
| 選抜期日 | 令和2年2月17日(月) |
| 合格発表日 | 令和2年3月6日(金) |
| その他 | <p>(1) 試験場：帯広畜産大学</p> <p>(2) 入学手続期間：令和2年3月6日(金)～令和2年3月23日(月)</p> |

【予告】

令和3年度（2021年度）帯広畜産大学入学者選抜方法等について

2019年3月25日公表

1. 一般選抜

(1) 募集人員

| 課程名 | 募集人員 | |
|---------|------|------|
| | 前期日程 | 後期日程 |
| 共同獣医学課程 | 30人 | 10人 |
| 畜産科学課程 | 130人 | 25人 |

※現時点での予定であり変更する可能性があります。

(2) 出願要件

大学入学共通テストの枠組みで実施される「英語認定試験」を受験し、CEFRの対照表におけるA1以上の成績を有すること。

(3) 選抜方法

1) 前期日程

募集人員の95%程度は、大学入学共通テストの成績及び本学が実施する個別学力検査成績を合計した総得点の高い者を上位として合格者を決定します。残りの合格者については、総得点と調査書の内容を総合して決定します。

2) 後期日程

大学入学共通テストの成績及び本学が実施する個別学力検査成績を合計した総得点の高い者を上位として合格者を決定します。調査書の内容は面接における参考資料とします。

(4) 実施教科・科目

| 学部・課程名 | 学力検査等の区分・日程 | 大学入学共通テストの利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | |
|---------------------------|-------------|------------------------------|--|---------|-----------|
| | | 教科 | 科目名 | 教科等 | 科目名等 |
| 畜産学部 共同獣医学課程 畜産科学課程 | 前期 | 国 地歴 公民 数 理 外 | 国 世A, 世B, 日A, 日B, 地A, 地B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 | その他 | 総合問題 |
| | 後期 | | 英(リスニング含む), 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | その他 | 小論文 面接 |

注意事項

【大学入学共通テスト】

1. 国語及び数学Iは記述式を含みます。
2. 地歴・公民で2科目受験した場合は第1解答科目の成績を利用します。
3. 数学で「簿記・会計」又は「情報処理基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【個別学力検査等】

1. 総合問題は英語、物理、化学、生物、数学の5科目を出題し、英語は必答、英語以外の4科目から2科目を選択で、計3科目解答するものとします。
英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」から、物理は、「物理基礎」「物理」から、化学は、「化学基礎」「化学」から、生物は、「生物基礎」「生物」から、数学は、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」の全範囲、及び「数学B」の「数列」「ベクトル」から出題します。
2. 小論文は課程ごとの出題とし、共同獣医学課程の資料は英文で提示されることがあります。

2. 学校推薦型選抜

出願の対象となる高等学校等の範囲は以下のとおりとします。

- ①高等学校
- ②中等教育学校
- ③特別支援学校の高等部
- ④高等専門学校の第3年次
- ⑤文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定若しくは指定した在学教育施設の当該課程

(1) 畜産科学課程A推薦（募集人員15人）

1) 出願資格・要件

高等学校等の農業に関する学科（これに準じる学科等を含む）を令和2年4月以降に卒業（修了）した者又は令和3年3月までに卒業（修了）見込みの者で以下の条件を満たす者

注1：農業に関する学科に準じる学科等とは、農業に関する専門科目（原則履修科目を含む）を20単位以上修得している学科等を指します。

- ①出願時において、調査書全体の評定平均値が3.8以上の者で、かつ、数学、理科、英語の評定平均値がいずれも4.3以上の者
- ②合格した場合は、入学することを確約できる者

2) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）、本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。

小論文（100点）：特定の課題を与えて1,000字程度の論述を課します。

面接（100点）：複数の面接官による個人面接

(2) 畜産科学課程B推薦（募集人員：40人）

1) 出願資格・要件

高等学校等を令和2年4月以降に卒業（修了）した者又は令和3年3月までに卒業（修了）見込みの者で以下の条件を満たす者

- ①出願時において、調査書全体の評定平均値が4.0以上の者
- ②「物理」「化学」「生物」及び「地学」の4科目のうちから4単位以上修得した者または令和3年3月までに修得見込み者

注1：「物理」「化学」「生物」「地学」は学習指導要領上の科目名を指します。「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「理科課題研究」は、要件に該当しません。

注2：理数科にあつては、「理数物理」「理数化学」「理数生物」及び「理数地学」の4科目のうちから10単位以上修得した者または令和3年3月までに修得見込み者。

注3：高等専門学校にあつては、理科科目の修得に関する要件を特に設けません。

- ③合格した場合は、入学することを確約できる者

2) 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）、本学が実施する小論文及び面接の成績を総合して行います。

小論文（100点）：特定の課題を与えて1,000字程度の論述を課します。

面接（100点）：複数の面接官による個人面接

※令和3年度入試の詳細につきましては、今後決定次第、本学ホームページに掲載します。正式には「令和3年度入学者選抜要項」（令和2年7月公表予定）でご確認願います。